

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（映像・表現文化論） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	問題Ⅰ 映像・表現文化、日本近現代文学・思想に関する基本的な知識を問う。 問題Ⅱ 映像・表現文化、または日本近現代文学・思想に関する論文を読解し、自分の意見を論述することにより、専門分野に関する理解力と表現力を問う。 (A) 日本近現代文学における獄中表象、高度管理空間のイメージに関する問題 (B) ベラ・バラージュなどの考察とクローズ・アップに関する問題

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 映像・表現文化論 全7枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 7枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Ⅰと問題Ⅱについて、別々の解答用紙に記入すること。
- ・ 問題Ⅱは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。

問題Ⅰ

次の1～12の語句の中から、3つを選択し、選択番号を明記した上で、その語句について知るところを記しなさい。

1. 二葉亭四迷「小説総論」
2. 内村鑑三
3. クレーン・ショット
4. ハイ・キー・ライティング
5. 中間小説
6. 表現主義映画
7. 「党生活者」問題
8. 五社協定
9. サバルタン
10. 吉本隆明の転向論
11. マンガにおける写真の導入
12. 『黒い雨』（小説）

問題Ⅱ A

次の文章は、副田賢二『〈獄中〉の文学史—夢想する近代日本文学』（2016年、笠間書院）の一節である（見出しは省略した）。（1）この文章を要約しなさい（250字程度）。（2）下線部「閉塞的な高度管理空間のイメージ」について、日本近代文学史をふまえて考えを述べなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 副田賢二『〈獄中〉の文学史—夢想する近代日本文学』笠間書院、2016年、13-17頁

平成30年度（前期）

映像・表現文化論

全7枚のうち3枚目

平成30年度（前期）

映像・表現文化論

全7枚のうち4枚目

問題Ⅱ B

次の文章は、西兼志『〈顔〉のメディア論』（2016年、法政大学出版局）の一節である。（1）この文章を要約しなさい（250字程度）。（2）文中の「クローズ・アップ」について、複数の映像作品に即し具体的に論じなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 西兼志『〈顔〉のメディア論』、法政大学出版、2016年、217-221頁

